

せいしんがい報

2019年1月1日 第119号

注目記事

- ◆1～3ページ 年頭の挨拶
- ◆4ページ ふじみの森フェスティバル
- ◆5ページ 親子合同芋煮会
- ◆7ページ 一泊旅行

法人本部

〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切12-1
☎(0246) 74-1551 ㊟(0246) 74-1561

救護施設やしおみ荘

〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切27
☎(0246) 89-3333 ㊟(0246) 89-3334

障害者支援施設ふじみの園・ショートステイほっと

〒972-0252 福島県いわき市遠野町上根本字白坂384-1
☎(0246) 89-3400 ㊟(0246) 89-3454

グループホーム レジデンスなごそ

メゾン・ド・あたご、メゾン・ド・ほりきり、コーポおかおな

ワークセンターしおさい

〒971-8161 福島県いわき市小名浜諏訪町1-10
☎(0246) 73-2077 ㊟(0246) 73-2078

天真庵

〒974-8212 福島県いわき市東田町2-11-7
☎(0246) 77-2033 ㊟(0246) 77-2733

障害児通所支援第2チャーむ・日中一時支援第2チャーむ

〒973-8409 福島県いわき市内郷御台境町鶴巻45-2
☎(0246) 84-6882 ㊟(0246) 84-6883

障害児通所支援みよん・日中一時支援みよん

〒974-8261 福島県いわき市植田町林内11-1
☎(0246) 85-5720 ㊟(0246) 85-5721

ハーモニセンター

〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町19-10

・指定特定相談事業所せんとらる

☎(0246) 38-3520 ㊟(0246) 38-3521

・虹のかけはし

☎(0246) 73-0111 ㊟(0246) 73-0112

・障害児通所支援チャーむ・日中一時支援チャーむ

☎(0246) 73-2033 ㊟(0246) 73-2034

謹賀新年

社会福祉法人 誠心会 理事長 松崎 有一

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年中皆様方には大変お世話になりました。まずは昨年の世界情勢を振り返ってみますと、タイの洞くつで少年ら十三人全員が救出され、シンガポールでは史上初の米朝首脳会談が開催されました。11月には米中間選挙で上院は共和党、下院は民主党勝利などのニュースが報道されました。一方我が国においては、西日本豪雨で220名の方が犠牲となり、12月には日産自動車のゴーン会長が逮捕されました。北海道では震度7の地震により道内全域が停電し、オウム松本死刑囚らの死刑執行、2025年万博の大阪開催が決定、自民党総裁選で安倍首相が連続3選などの大きな出来事がありました。また、今年は天皇陛下の御退位が決

定されており、平成の終わりが間もなく近づき、来る5月1日には新元号となる予定であります。さらに、来る10月には消費税の引き上げが決定されており、我々の社会福祉界においても影響を受け、「新しい経済政策パッケージ」で報酬改定や人づくり革命の中で人材確保のための取り組みをより一層進めるため、経験・技能のある職員に重点化を図りながら職員の処遇改善を進めるとされております。このように、大きなうねりの中において今年はどうな時代になるのか、その変化に対応していきたいと考えております。どうぞ、今年も皆様方のお力を得、今後とも社会貢献に努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。





救護施設 やしおみ荘

施設長 渡邊 誠二郎

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年中はご利用者様やご家族様そして地域の皆様より、暖かいご支援やご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

やしおみ荘では、『地域に信頼され、地域に愛され、地域と共に進化し、信頼と安心と安全、人権を尊重し、そして生きがいを提供する』という経営理念のもと、職員一同一丸となって努力してまいりました。おかげさまで地域福祉の中で、救護施設として重要な位置づけとしてお役に立つことができました。これもひとえに、地域住民、各関係機関等の皆様の御理解と御協力があったからこそ継続できたものと深く感謝申し上げます。

やしおみ荘では、利用されている方々のニーズに対して、満足していただける支援を基本とし、様々なプログラムを用意しております。その中の一つとして、一昨年より、居宅生活訓練事業を開始しました。事業では利用者2名の方が自立した生活に向け、職員のサポートのもと、アパートで生活を始めました。昨年の3月に無事に地域への生活へ移行する事ができました。現在、新たに2名の方が地域移行に向けての支援を受けております。

また、昨年4月より荘内に自治会を発足し、利用者の声を行事等の日課に反映させていけるよう取り組んでおります。例えば、毎年恒例の行事として、「やしおみ荘夏祭り」を開催しておりますが、今回から自治会も運営側として、地元の方々と一緒に楽しむことができるよう取り組んでおります。

今後、私たちは地域の活動を通じて社会貢献に力を入れるなど、地域に根差した施設を目指して

いきたいと考えております。まだまだ力不足は否めませんが、本年もご利用者様、ご家族様、そして地域の皆様方の変わらぬご指導ご支援をお願い申し上げます。皆様におかれましても、今年が良き年になりますように、ご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

共同生活援助

管理者 永沼 憲一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

利用者様はじめ、ご家族様、地域の皆様、福祉関係の皆様には、健やかに新年を迎えられたことと、心よりお喜び申し上げます。また日頃より、私どもの福祉活動に対しまして多大なご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、障がいを持たれた方が地域で安心して過ごすことが出来るような体制作りが求められている昨今、グループホームの地域における役割、そして課題も多々存在してまいります。同時に、利用者様のニーズをふまえ、グループホームの利点を生かし、少しでもそれぞれの利用者様にとって必要な支援を提供していく事も大切なことです。

当法人の理念にあるように、地域性と利用者様へのより良き支援を意識しながら、今年も職員一同微力ながら、地域の大切な社会資源の役割を担えるよう尽力いたしますので、皆様のご指導、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

障害児通所支援 みによん

管理者 小宅 幸恵

新年あけましておめでとうございます。

平成最後のお正月を迎えますとともに、5月1日より新元号となる正に新しい年の始まりです。また、10月からは消費税が8%から10%になり、国民の購買意欲の低下により国の経済が回らなくなってしまうことも懸念されますが、こうした世の中の変化に対しても、福祉の主たる担い手である私達、社会福祉法人は、絶えることなく維持発展が求められます。今までの既成概念にとらわれることなく、利用者のことを第一に考えて常に変化・進化していかなければならない時代となりました。

昨年のごあいさつでも、サービスの質の向上に取り組んでいく旨、決意表明をさせていただきましたが、昨年行われました報酬改定におかれましては、質を重視した報酬改定だったかなと感じております。

今年の干支の亥にあやかって、職員一同、向上心を持って突き進んで参ります。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

就労移行支援・就労継続支援B型 虹のかけはし

ワークセンターしおさい、天真庵

管理者 木村 大

謹んで新春をお祝い申し上げます。

昨年は利用者様、ご家族様、地域の皆様並びに関係機関の皆様の格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

虹のかけはしが小名浜ハーモニーセンターへ移転して早くも1年が経過しました。パンの店舗販売が地域の方々との窓口となり、障害のあるなし関係なく地域の中心で普通に生活するという事が想像していたよりも自然である事に気付かされました。また新たに開始した就労移行支援サービスにつきましては、南部拠点の重要施設として一般就

労を目指す方への支援はもとより、就労継続支援B型を希望する支援学校生に就労アセスメントを実施し将来の方向性を決定する等、重要な役割を担っております。

ワークセンターしおさい及び天真庵につきましては、事業所の主たる従たるという関係になった事から、職員間の連携が一層密となり利用者様へのより細やかな支援が可能となりました。

今年も地域に根ざした事業所として邁進して参りたいと思います。皆様のご支援とご協力を賜りますよう、職員一同心よりお願い申し上げます。

相談支援事業所 せんとらる

管理者 七木田 俊介

新年明けましておめでとうございます。昨年中は皆様のご支援やご理解を賜り、無事新年を迎えることができましたことに厚く御礼申し上げます。

せんとらるにおきましては、事業所が複合施設ハーモニーセンターに移転後、利用者様、ご家族様、関係各位の皆様のご来訪も増え、地域での認知度も少しずつ増えてきていると感じております。今後は地域の皆様にも広く認知していただけるような事業所を目指し、地域の課題等について地域や関係機関と一緒に考えていければと思います。

相談支援については平成30年度の報酬改定により利用者様と会ってお話をする頻度を増やし、より専門的な支援を行っていくことが求められるようになりました。せんとらるについても顔の見える相談支援を目指し、職員一人一人が専門性の向上を図っていただけるように努力して参りたいと思います。

本年も寄り添う支援を目指し職員一同努力して参る所存でございますので、皆様のご支援ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

社会福祉法人福島県共同募金会様

配分金ありがとうございました。 ふじみの園

この度、社会福祉法人福島県共同募金会様より平成30年度共同募金配分金として300万円を頂き、総額648万円でふじみの園の廊下・トイレ・浴室等への手すり設置事業が完了いたしました。本事業は施設利用者の重度・高齢化が進んでいく中で大変重要な位置づけとなっております。手すりが設置され園内移動の際に利用者自ら手すりを利用し歩く姿も見られるようになりました。今後は手すりを利用しながら、利用者が安全に安心して生活が送れるよう支援していきたいと思っております。



第27回ふじみの森フェスティバル

ふじみの園

9月22日(土)に第27回ふじみの森フェスティバルを開催しました。台風の影響で前日から生憎の雨で、ステージは「地域交流ホームふじみの里」内に設置しました。オープニングを飾ってくださったいわきラブフィーストゴスペルクワイアさんは、心に響く歌声を披露してくださいました。クラブスさんは、キレのあるチアダンスで来場された方を巻き込んで楽しませてくださいました。LDRさんはセクシーで妖艶なラテンダンスを、小沼寿恵さん、志摩幸子さんは名曲を披露してくださいました。

上遠野・入遠野の婦人会の皆様、遠野地区社会福祉協議会の皆様、誠心会後援会様、福祉レクリエーションネットワーク様、根本地区住民の皆様のご協力があり、今年も無事にふじみの森フェスティバルを開催することが出来ました。来場して下さった皆様、運営に携わって下さった皆様に心より御礼申し上げます。



10月8日(月)遠野オートキャンプ場にて親子合同芋煮会が行われました。前年度を上回るたくさんのご家族にご参加いただき、今年度もお陰様で盛況のうち芋煮会を終えることができました。芋煮会のメニューは、今年度は「焼肉」「焼きそば」「豚汁」の他に、前年度ご参加いただいた保護者様からのリクエストとして、マシュマロローストが加わりました。あちこちからマシュマロが焼ける甘くほろ苦い香りと子どもたちの笑顔が広がり、またひとつ芋煮会の楽しみが増えたようでした。バーベキューの後は、恒例の親子レクが行われました。今年は



障害物競走が行われ、親子ペアになり「輪くぐり」「紐跳び」「パン食い競走」の3種目を競いました。「輪くぐり」では、子どもサイズの小さめの輪を体を丸めて苦戦しながらくぐるお父さんお母さんの姿に、子どもたちも歓声をあげ大喜びでした。「パン食い競走」では、同法人の就労継続支援B型「虹のかけはし」のあんぱんを使用しました。後日、「とても美味しいパンでした」との声をたくさんいただくことができました。ありがとうございます。

来年度の芋煮会も、是非たくさんのご家族のご参加をお待ちしております。

やしおみ荘へ行こう

やしおみ荘

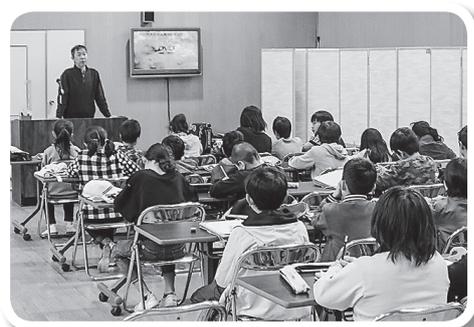
11月22日(木) 上遠野小学校の4年生30名と先生2名がやしおみ荘へ行こうに参加する為、施設に来てくれました。以前からこの行事を心待ちにしていた利用者は何度も玄関の所まで来て、まだ子ども達が来ていないか確認していました。

上遠野小学4年生の皆さんは、渡邊施設長からやしおみ荘の施設の概要や福祉についての講話を聞き、講話の後の質問では「どのような障がいをもった人がやしおみ荘にはいるのか」「施設ができてから何年か」等、次々と質問をする姿が見られ、やしおみ荘や福祉への理解を深めていました。講話が終わると施設内を見学した後は、生徒の皆さんが歌やリコーダーでの演奏を披露してくれました。手話を用いて歌を歌った際、「すごいね」「難しいのに覚えたんだ」と涙ぐむ方もおり、最後には生徒の皆さんを真似て、一緒に手話で歌を歌いました。

2日目は11月29日(木)にやしおみ荘体育館にて、子ども達と一緒にスノードーム作り体験をしました。テーブルの上に準備されたラメや小物を見ると、自分の好きな色や形の小物を手に取り、一つ一つ丁寧に小瓶に詰めていました。隣の友達とお揃いにしたり、自分だけのアレンジをしたりと思いつきの作品が出来上がりました。見本を見て作品作りをしましたが、いざ自分だけのスノードームができると、「きれい」「初めて作ったけど楽しかった」と流れ落ちてくる様子を眺めて楽しんでいました。

スノードームを作っている途中、同じテーブルにいた利用者が困っていると、手順を教えていたり、作品に名札を付けるときに代わりに名前を書いたりする姿も見られ、利用者も子ども達と交流できることを喜んでいました。

学校の授業でも「福祉」について学んでいますが、直接交流することで自分達と変わらないことを感じて欲しいと思いました。



11月5日(月)毎年この時期には、秋の訪れを楽しみながら遠野の町中に設定したコースを歩くウォーキングを行なっていましたが、今年は更に楽しみながら体を動かすことはできないかと考え、徒競走や玉入れ、紙飛行機飛ばし等の全員が参加できる種目を取り入れたミニ運動会を開催しました。紅白2チームに分かれて行なったことで、応援にも力が入り大変盛り上がりました。昼食は屋外作業の一環として敷地内の畑で育てたサツマイモがメニューに入ったお弁当を食べました。例年とは一味違った活動でしたが、貴重な時間を過ごせたのではないのでしょうか。



～母畑温泉～

11月5日(月)今年の日帰り旅行は少し足を伸ばし、御齊所街道沿いの紅葉をバスの車窓から眺めながら、石川町の母畑温泉「八幡屋」へ利用者14名、職員5名にて出かけました。食事内容は石川牛の焼肉、お刺身、蟹入りの水炊き、蒸し物等、食べ切れない程の料理が並び、目移りしてしまいました。最後のデザートを楽しみ、お腹が一杯になったところで、利用者の中で自然とアカペラで歌を口にし、周囲の利用者も一緒に歌っていました。笑顔で集合写真を撮り、自分へのお土産も忘れずに買い物も楽しんでいました。

帰る途中で古殿町の憩いの森公園に寄り道し、いわきよりも深い色の紅葉と秋の澄んだ空気を感じながら、散策もしました。

旅行に出発する前は、久しぶりの遠出に緊張している様子も見られましたが、荘へ戻ると「行ってよかった」と多くの方が喜んでいました。



～トマト収穫～

11月30日(金)日帰り旅行にて利用者26名、職員7名の計33名でいわき市四倉町にあるトマトのテーマパークのワンダーファームに出かけました。ワンダーファームではトマトの収穫体験を行ない、赤や黄色のお馴染みのトマトから、初めて見る紫色のトマトも収穫しました。暖かい温室の中で15m以上に伸びた蔓の先に実るトマトを用意された小袋に入れていきました。皆さん、美味しそうなトマトを目に前になると、童心に返られたような表情で収穫していました。

バスで海岸沿いを南下し、車窓より海を眺めながら小名浜にある、いわき・ら・ら・ミュウに向かい、食事を楽しみました。食後は買い物も楽しみ、いわきのご当地キャラクターや海のデザインのハンカチやキーホルダー等を購入した事を帰荘後に職員に笑顔で報告してくれました。



～富士山望む静岡へ～

9月13日(木)～9月14日(金)利用者12名、職員4名で静岡方面へ一泊二日の旅行に出掛けました。片道5時間のバスの移動の間、皆さんが楽しみにしているおやつを頬張り、添乗員の方の説明を聞きながら景色を眺めたり、渋滞している車や密集している住宅街を眺めたりと、普段は見ることができない景色を各々に楽しむことができました。

一日目、初めの目的地である「ぐるめ街道の駅」では、地元産のあしたか牛を中心とした食事を美味しく頂きました。その後の日本一高い歩行者専用吊橋がある三島スカイウォークでは、天気が良いれば富士山や駿河湾など360度パノラマで見渡すことが出来る場所でしたが、生憎の曇り空で富士山は見る事ができませんでした。中には高いところを怖がったり、橋の揺れを感じて渡れなかった方もいましたが、職員が置いて行かれてしまう程、怖さを感じずに渡り切る方も多くいました。

夕食は静岡といえば新鮮な刺身や魚料理だけでなく、鍋料理やアワビを使った料理も出て、皆さん宴会という事も忘れてしまう程黙々と食していました。「美味しかった」と笑顔で話され、食事も落ち着いてくると、次はカラオケです。「恥ずかしいです」と話していても、いざ曲がなり始めるとマイクを握り、自慢の歌声を披露してくれました。

二日目はロープウェイで展望台に行き、富士山を眺め、散策もできる伊豆の国パノラマパークへ行きました。午前中は雨が降っており、散策する人は少なく、一番楽しみにしていた富士山も雲と霧によって見る事ができませんでした。多くの方が伊豆No.1のこだわりショップでゆっくり買い物を楽しむ様子が見られました。

今回の旅行は移動距離が長く、富士山も宿泊先で窓越しに見えただけとなってしまいましたが、利用者の希望で久しぶりに遠方に出掛けた方も多かった為、利用者の方々の笑顔がたくさん見られ、充実した二日間となりました。



～秋深まる新潟の旅～

10月18日(木)～19日(金)の2日間、利用者14名、職員5名で新潟方面へ一泊旅行に出掛けました。朝が少し肌寒く感じた秋空の天気の中、足早にバスに乗り、出発しました。

1日目は新潟ふるさと村で昼食を食べ、ショッピングをした後、新潟せんべい王国に向かいました。揚げせんべいを焼いている工程の見学と揚げせんべいの味付け体験を行ないました。味付け体験では8種類の味から好きな味を選び、袋に入れ、よく振って味を馴染ませた後、スタッフの方に渡してきれいに梱包してもらったら、出来上がりです。自分好みに出来上がったせんべいは、早々に移動中のバスの車内や旅館でおいしく頂きました。

旅館では日本海が目の前に臨む瀬波温泉にて温泉を楽しみ、部屋からも海だけでなく、きれいな夕日も楽しめる予定でしたが、夕日が沈むころに雲に隠れてしまい、沈む瞬間は見る事ができませんでした。その分宴会で食事やカラオケで大盛り上がり。初めは恥ずかしがっていても、マイクを持つと自慢の歌声を披露してくれました。

2日目は全国的に有名な弥彦神社を参拝しました。神聖な場所であり、鳥居をくぐる時には一礼をする、参道の真ん中は神様が通る場所である為、参道の端を歩く等の作法を伝え、心静かに本殿へ進みました。手水舎で手や口を清めて、いざ神殿を目の前にすると、厳かな空気に自然と手を合わせ、自分や家族の健康や将来のこと等、利用者一人一人がお願い事をし、参拝を終えました。

最後の目的地である寺泊では、日本海の幸も堪能することができました。

今回の旅行では、利用者自身がお小遣いの管理を自分で行う事を目標としたり、旅行のしおりを作成したりと昨年とは違う内容に戸惑う事もあったようですが、終始笑顔の絶えない旅行となりました。



高齢者施設訪問

ちゃーむ・第2ちゃーむ・みによん

10月6日(土) サニーポート小名浜を訪問し、交流会を行いました。各事業所ごとに練習してきた出し物を披露しました。ちゃーむは合奏を披露し、ウクレレやペットボトルで作った太鼓など色々な楽器で「散歩」「崖の上のポニョ」「もみじ」の3曲を演奏すると、高齢者の方々も手拍子をして応援してくださいました。第2ちゃーむはダンスを披露しました。「アンダーザシー」の音楽に乗せてとてもかわいらしい振り付けで踊り、高齢者の方たちも微笑ましい表情をしていました。みによんはオペレッタ「おむすびころりん」を披露しました。ドキドキしながらも上手に音楽に合わせて踊ったり、セリフの通りに動いたり頑張りました。そして職員も、ピアノとギター演奏を披露しました。

最後にプレゼントとして作製した巾着をお渡し、交流イベントを行いました。子供たちも高齢者の方々も音楽に合わせて手を合わせたり握手をしたりと楽しい時間を過ごす事ができたと思います。



植田歩行者天国販売

虹のかけはし・ワークセンターしおさい・天真庵



10月8日(月) 植田歩行者天国販売に3事業所で参加しました。

虹のかけはしはパン・シュークリームを、しおさいはうどん・ラーメン、天真庵は、焼うどん・おこわセット(唐揚げ付き)を販売しました。

皆で販売準備をし、9時からいざ販売開始。当日は天候にも恵まれ、お客様もたくさん賑わっていました。

3事業所皆の「いらっしゃいませ」の声が響き渡り、その元気な声にお客様も足を止めて購入してくださいました。皆の顔も段々と笑顔になっていき、全部の商品が完売すると、一斉に万歳の掛け声が聞かれました。

来年も完売目指して頑張ります。



寄付を頂いた方

佐藤 淳一様(佐藤理容所様)

編集後記

あけましておめでとうございます。平成最後のお正月。皆さまいかがお過ごしでしたでしょうか。今年は新元号になったり、消費税が上がったりと変化への対応で忙しくなりそうですが、オリンピックイヴェイヤーでもあります。期待が膨らみますね。どうか平和で豊かな一年でありますように。

